

(株)ケイエスピーと人材育成で相互交流

起業者を目指す学生の支援育成体制充実

本学は、(株)ケイエスピー(川崎市高津区・山田長満社長)と、人材育成のための相互交流覚書を6月16日付で締結した。本学では、起業者を目指す学生を支援するため「ベンチャービジネスコンテスト」「ベンチャーワークショップ・入門講座」などが行われているが、今後は、同社と共同で、個別相談や共同研究、プロジェクト、学術講演会の開催などにより、いままで以上に実践的な指導が可能となる。

調印式で日高義博学長は、「各大学が個性と特徴を出していかなければならない時代にあって、本学においては、大学の使命を『教育・研究』だけでなく、『地域社会に貢献する人材育成』ととらえている。2001年からは、川崎市と人材育成を目指した相互連携『KSパートナーシップ・プログラム』を進めてきているが、今回の締結により、起業者を目指す学生の支援体制がさらに充実した。ケイエスピーを出発点に川崎市、そして日本社会に貢献できる人材を育ていきたい」と述べた。

山田長満社長は、「専大発、世界に通用する『世界企業』を誕生させたい。地域経済活性化のために起業者を目指す専大生の夢の実現に向けて助力を惜しまない」とあいさつした。

また同日付で、山田氏が代表を務める日本起業者協会とも、人材育成のための交流協定を締結した。



※日本最大級のハイテクインキュベータ「かながわサイエンスパーク」の運営の中核をなす(株)ケイエスピーは、ベンチャー企業の創業から事業成長、株式公開までの支援を行っている。神奈川県、川崎市といった公的セクターが資本参加し、地域の産業振興に重要な役割を担っている。



▲調印後、握手を交わす日高学長(右)と山田社長



▲調印式を終えた後、日高学長は施設見学を兼ねて現在活動中の「mode-duo」を訪問、激励した

第18回専フィル「サマーコンサート」

ベートーヴェン「交響曲第7番」披露

第18回専修大学フィルハーモニー管弦楽団「サマーコンサート」が6月29日、多摩市民館大ホールで開催された。今回のプログラムは3曲ともドイツ音楽で構成されており、ニコライの歌劇「ウインザーの陽気な女房たち」序曲、シューマンの「序曲、スケルツォ、フィナーレ」と明るく穏やかな曲調で聴衆の雰囲気盛り上げた。



▲写真提供：多摩スタジオ

メインはベートーヴェンの「交響曲第7番 イ長調」で、輝きに満ちた名曲に負けない演奏を披露した。サマーコンサートでは大きな舞台を初めて経験する新人部員も少なくないが、丁寧にまとまった演奏を作り上げていこうとする意欲が感じられ、全体を通しておおむね安心して聴くことができた。歯切れのよさが欲しい場面もいくつか見られたが、これは今後の成長要素ととらえるべきだろう。舞台上で普段の練習成果を存分に発揮できる度胸を身につけることも必要かもしれない。

アンコールはブラームスの「ハンガリー舞曲第5番」。600人の聴衆から送られた大拍手は、11月にミュゼ・川崎で開催の定期演奏会への期待をふくらませた。

第40回黒門祭

第40回黒門祭が6月30日から7月2日まで生田キャンパスで行われた。

「暗雲を突き破り、批判精神を呼びさまそう！」をテーマに、講演会、シンポジウム、映画上映、Music Festival、スポーツ大会など多彩なプログラムを展開した。



▲ボランティア活動研究同好会「樹々の会」は総合体育館で子供達と一緒にゲーム大会を行った



▲力作がずらり。美術研究会の展示コーナー

川崎フロンターレ「キッズリーグ」

サッカー部員が協力

6月18、24、25日に生田キャンパスの北グラウンドで、J1首位を走る川崎フロンターレ主催、専修大学協力の「キッズリーグ」が昨年に続き行われた。約100人のサッカー部員全員が運営に携わり、未来のJリーガーをサポートした=写真。

